

芸閣

・～図書館だより～

第6号
2021年10月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)

秋の夜長を本とともに

「秋の日はつるべおとし」
つるべというのは、井戸で水を汲むための綱を付けた桶などのこと。日が暮れるのがつるべを落とすように早く感じる秋は、夜が長いということでしょう。虫の声を聞きながら読書を楽しむのにぴったりです。



最後の頁を閉じた
違う私がいいた

10月27日～11月9日は読書週間です



(裏面に新着図書の紹介を載せています)



新着図書の紹介

小説

- 『生きてさえいれば』 小坂琉加 著 文芸社
『卵ハンバーグは知っている』 藤本ひとみ 著 講談社
『きのうのオレンジ』 藤岡陽子 著 集英社
『教場X』 長岡弘樹 著 小学館
『文豪ストレイドッグス 探偵社設立秘話』 朝霧カフカ 著 KADOKAWA
『約束のネバーランド ママたちの追想曲』 七緒 著 集英社
『さよならも言えないうちに』 川口俊和 著 サンマーク出版



自然科学

- 『法医学者の使命』 吉田謙一 著 岩波書店
『壊れた脳と生きる』 鈴木大介 著 筑摩書房
『カイメン すてきなスカスカ』 椿玲未 著 岩波書店
『空のふしぎがわかる! すごすぎる天気の本鑑』 荒木健太郎 著 KADOKAWA
『きみの体は何者か なぜ思い通りにならないのか?』 伊藤亜紗 著 筑摩書房



社会科学

- 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー 2』 フレイディみかこ 著 新潮社
『100年無敵の勉強法 何のために学ぶのか?』 鎌田浩毅 著 筑摩書房
『時給はいつも最低賃金、これって私のせいですか?』 和田静香 著 筑摩書房

その他

- 『街路樹は問いかける』 藤井英二郎ほか 著 岩波書店
『フォト・レポート 里山危機』 永幡嘉之 著 岩波書店
『似ている英語』 おかべたかし 著 東京書籍
『国語をめぐる冒険』 渡部泰明ほか 著 岩波書店
『本当の「心の強さ」ってなんだろう?』 斎藤孝 著 誠文堂新光社
『がんばらない戦略』 川下和彦ほか 著 アズコム
『死者と霊性』 末木文美士 編 岩波書店
『訪問調理師ごはんさんの野菜大好きレシピ』 ごはんさん 著 徳間書店
『すべての瞬間が君だった』 ハ・テワン 著 マガジンハウス



お知らせ

文化祭に、図書局員が本のPOPを図書館に展示します。是非、お立ち寄りください。

